

障がい者の雇用促進の認識は



西山富三郎 議員

町長

共生社会の実現につながる



人権啓発を進めるセミナー

【西山】「障がい者が地域の一員として共に暮らし、共に働く」ことを当たり前とするため、平成30年4月1日から法定雇用率も変わる。

障がい者の雇用により期待されること、認識と啓発は。

【町長】障がいに関係なく、職業を通じて社会参加ができ「共生社会」の実現につながることを認識している。啓発については鳥取労働局、鳥取県などが行っている。

【西山】雇用率の改正

は。

【町長】事業主区分で異なるが、地方公共団体に対する法定雇用率は、2・3%から2・5%に引き上げとなる。

【西山】大山町役場における現状と今後は。

【町長】採用人数は4人に対し4・5人で充足している。充足するように対応する。

【西山】とつとり障害者しごとサポーターを養成しているか。

【町長】鳥取労働局などが、平成29年度から開催しているので参加したい。

記者会見は公人のつとめ

町長

民主主義の根幹だと思おう

【西山】町民にとって知る権利の保障が大切である。記者会見は公人の「つとめ」である。

自治体からの声明を発表しているか。

【町長】自治体からの声明は民主主義の根幹だと認識している。3月までに記者会見も5回を数える。今後も積極的に発表したい。

【西山】マスコミ対応の基本事項は。

【町長】スピード・正直・わかりやすさ。

【西山】マイナスイメージも広報しているか。

【町長】マイナス情報こそ伝えるものと考えて、適切に広報していると思う。

【西山】スポークスマンの心得は。

【町長】伝えるべきこ



県内の町村長で初の定例記者会見

とをきちんと伝えることだと思おう。

【西山】資料は提供しているか。

【町長】提供・発表している。

【西山】誤報道への対応は。

【町長】大きく誤認された場合は、報道機関に修正を依頼する。